

AirCheck™ G2 vs G3

製品比較

AirCheck G2をAirCheck G3にアップグレードすべきかどうか迷っている方もいらっしゃるかもしれません。AirCheck G2は優れたツールであり、十分な活躍をしています。それでも、AirCheck G3はNetAllyの最新かつ最高の製品であり、いくつかの独自の機能を備えています。そこでAirCheckの第2世代と第3世代を比較してみましょう。

両ツール最大の違いは次の通りです:

- ・ **Wi-Fi 6 と 6GHz** – AirCheck G2 と AirCheck G3 はどちらも 2.4GHz および 5GHz 帯域で Wi-Fi 6 を可視化しますが、ネイティブ Wi-Fi 6/6E 無線により、AirCheck G3 は 6GHz 帯域の可視化を実現します。また、実際の Wi-Fi 6/6E データレートで接続し、Wi-Fi 6 データフレームをキャプチャすることが可能です。
- ・ **解析レベル** – もう 1 つの大きな違いは、提供される情報量です。どちらも Wi-Fi の可視性を提供しますが、AirCheck G3 は短期間のモニタリングにも使用できます。そのため、測定が行われた時点で RF を可視化できるだけでなく、ワイヤレスネットワーク環境が時間の経過とともにどのように変化するかを示すトレンドグラフも得られます。
- ・ **アプリケーションの充実** – AirCheck G2 は、2.4/5GHz Wi-Fi サイトサーベイ、分析、およびトラブルシューティング機能を完備しています。しかし、AirCheck G3 は、Wi-Fi 6/6E 機能に加え、ネットワーク検出、パス解析、Link-Live でのトポロジマッピングなど追加のテスト機能を提供します。さらに、AirCheck G3 の Android オペレーティングシステムでは、サードパーティのアプリがインストール可能になりました。
- ・ **バッテリーライフ** – AirCheck G2 のバッテリーは約 4.5 時間持続します。スポットチェックやトラブルシューティングには十分な時間です。それでも、AirMapper アプリを使用して 1 日中サイトサーベイを行うには十分ではないかもしれません。AirCheck G3 のバッテリーは最大 10 時間持続するのに加え、AirCheck G2 の 2 倍以上の速さで充電できます。

結論として、AirCheck G2はWi-Fiサイトサーベイ、テスト、およびトラブルシューティングと優れたツールです。しかし、6GHz帯に対応し、ネイティブWi-Fi 6無線を搭載し、短期間のモニタリング、アプリをインストールして機能拡張ができ、バッテリー寿命が長いツールが必要な場合はAirCheck G3が最適なソリューションです。



製品比較表

機能	AirCheck™ G2	AirCheck™ G3
テクノロジー サポート		
802.11対応規格	802.11a/b/g/n/ac (802.11ax:802.11ac無線による可視性の提供)	802.11a/b/g/n/ac/ax
Wi-Fi 対応周波数 (2.4, 5, 6GHz)	デュアルバンド(2.4,5GHz)	トライバンド(2.4,5,6GHz)
802.11無線搭載数	1	2
802.11空間ストリーム	3 x 3	2 x 2 & 1 x 1
Bluetooth対応	No	Yes
有線イーサネットリンクテスト	10M/100M/1G	No
有線イーサネットインターフェース	Copper (1)	No
オペレーティングシステム	カスタム組み込みLinux	Android (サードパーティアプリに対応)
Wi-Fi 検証とトラブルシューティング		
AirMapper Wi-Fi サイトサーベイ	Yes (アクティブまたはパッシブ)	Yes (アクティブとパッシブ同時サーベイ可)
AirMapper Bluetooth/BLE サイトサーベイ	No	Yes
Wi-Fi スループット測定	Yes (iPerf 3 & テストアクセサリ対応)	Yes (iPerf 3, テストアクセサリ & スピードテスト対応)
スペクトラム解析	No	Yes (NXT-1000 *オプション)
パケットキャプチャ	Yes (Wi-Fi 6 データフレーム含まない)	Yes (Wi-Fi 6 データフレーム含む)

AirCheck™ G2 vs G3

製品比較表



機能	AirCheck™ G2	AirCheck™ G3
Wi-Fi 検証とトラブルシューティング		
チャンネルオーバーラップ (“チャンネルマップ”)	Yes (2.4, 5GHz)	Yes (2.4, 5, 6GHz)
不正・悪意のあるデバイス検出		
接続性トラブルシューティングツール		
Wi-Fi 干渉波解析 (同一・隣接 チャンネル干渉)		
チャンネルの高利用率検出		
オートテスト機能	Yes (一度に一つのプロファイル)	Yes (一度に複数のプロファイル)
定期オートテスト	No	Yes
位置特定	Yes (AP、クライアント、 非802.11デバイス)	Yes (AP、クライアント)
ローミング解析	Yes	
Wi-Fi 時系列の傾向	No	Yes
エキスパートアドバイス	No	Yes
Wi-Fi デバイス分析		
AP検出とプロパティ	Yes	
デバイス名	Yes (APのみ)	Yes (AP & クライアント)
クライアント検出とプロパティ	Yes (接続 & 未接続)	
非802.11 干渉デバイスの検出とプロパティ	Yes	No
アクセスコントロールリスト (ACL)	Yes	
クラウドサービス		
テスト結果管理	Yes (Link-Live)	
AirMapper ヒートマップ生成	Yes (Link-Live または AirMagnet Survey PRO)	
トポロジマッピング	No	Yes (Link-Live)
ユニット管理	Yes (Link-Live)	
プロファイル共有		
メモの添付、スクリーンショット & テスト結果画像		
ネットワーク経由のソフトウェアアップデート		
クラウドリモートコントロール	No	
レポート		
ローカルレポート	Yes (“AirCheck G2 Manager” ソフトウェア)	No
クラウドレポート	Yes (Link-Live)	
サイトサーベイレポート	Yes (Link-Live または AirMagnet Survey PRO)	
その他		
外部アンテナ対応	Yes (デュアルバンド)	Yes (トライバンド)
スクリーンショットキャプチャ	Yes	
VNC リモートアクセス&コントロール		
結果をUSBメモリに保存		
標準バッテリー使用時間	約4.5時間	約10時間
充電時間	約7時間	約3時間

